

平成 30 年度入試

大学・短大・専門学校等合格者状況

〈平成31年3月卒業37期生と過年度卒業生〉

〈数字は、現役・浪人生の推薦・一般入試の合計延べ数〉

Table with 4 columns: 国立大学, 現役, 卒業生, 合計. Lists various universities and their student counts.

Table with 4 columns: 短期大学, 推薦A0, 一般, 合計. Lists short-term universities and their student counts.

Table with 4 columns: 専門学校, 推薦A0, 一般, 合計. Lists vocational schools and their student counts.

*看護医療系の内訳

Table with 4 columns: 学校名, 推薦A0, 一般, 合計. Lists nursing and medical schools and their student counts.

私立大学続き

Table with 4 columns: 私立大学, 現役, 卒業生, 合計. Continues the list of private universities and their student counts.

進路概況



①大学 大学入試のトピックスとしてお伝えしたいことは、大規模私立大学の定員の厳格化の影響により私立大学入試の難化が継続していること、私立大学の指定校推薦入試希望者が増加し、公募制推薦入試や一般入試で合格を出せる人数が減少傾向にあること、三つ目は京阪神地区の公募制入試が昨年度は非常に激しかったことです。このような現状のため、多くの高校生が「安全思考」となりました。本校の生徒を含め全国的に「いきたい大学」よりも「受かる大学」を探す生徒が増加傾向にあります。従来であれば関西圏立入チャレンジャーとしていた学力層の生徒がランクアップして関西圏立の倍率は関大のぞいで安定していますが、関西、進手門、大阪工業、大阪商業など中間層の大学の倍率は高くなっています。また、昨年度はセンター試験の「国語」の平均点が非常に高く、文系の生徒が私立のセンター利用入試をより多く利用する傾向にありました。そのため、センター利用入試の倍率が特に文系学部を中心に増加傾向にありました。そのような中でも、得意科目を活かし、センター利用/併用入試で合格を勝ち取る生徒も多く見られます。

②短期大学 4年制に移行する学校の増加によって縮小傾向は続いています。本校でも、短大の希望者は減少傾向にあります。しかし、看護や保育、外国語系の学部では根強い人気も見られます。また、近年では私立4年制大学の難化に伴い、3年次編入を考えて短大を受験する生徒も見られます。③専門学校 6月以降にオープンキャンパスなどを利用して早期に「合格内定」を出すところがあります。きちんと調べて、保護者や先生と相談した上で出願を判断して欲しいです。安易に出願し、多額の授業料や入学金を払って失敗するケースが多くなっています。そのような悲しいことにならないようにするために就職率や授業の状況、資格の取得状況などを慎重に見極めてください。看護の専門学校は近年減少傾向がありますが、根強い人気がありますので、いち早く模擬試験等を利用して学力をつけることがA0、推薦、一般の区分に因縁なく重要です。また、面接等で行いコミュニケーション力も問われます。秋以降に面接練習を行いますので、積極的に利用してください。『専門学校』の認可を受けていない『各種学校』という学校の区分がありますが、専門学校と思っ込んで各種学校を受験しようとする生徒もいます。一見2つの学校の区分は難しですが、施設や教育課程、学歴認知度などの点で大きな違いがありますので不安に思ったら、まず担任の先生に相談してみてください。④就職 高卒求人状況は改善傾向にあります。しかし、本校に送付される求人の種類には偏りがあり、人気の事務系の求みに集中しています。『専門学校』の認可を受けていない『各種学校』という学校の区分がありますが、専門学校と思っ込んで各種学校を受験しようとする生徒もいます。一見2つの学校の区分は難しですが、施設や教育課程、学歴認知度などの点で大きな違いがありますので不安に思ったら、まず担任の先生に相談してみてください。⑤就職について、昨年度は学校紹介による民間企業への就職者数は2名、公務員就職者は2名（海上保安学校、寝屋川市立行政）でした。就職を希望した生徒は4月から熱心に企業研究や訪問を行っていました。面接の練習等も熱心に行ってきた結果、希望する職種への内定を勝ち取ることができました。公開求人は増えてはいますが、生徒が希望する条件の求人票は少ない現状があります。また、公務員希望者は早期から情報を集め、公務員試験を必ず受験して備えることが大切です。

本校の状況

国立大学合格者は4名（現役2名）で昨年より2名増加し連続して国立大学合格者を輩出することができました。私立大学では関関同立27名（以降現役延べ数）、産近甲龍108名という結果でした。関関同立に関しては出願延べ数並びに出願率が減少した為、合格者数も減少しています。やはり、「安全思考」が働き、チャレンジャーが少なくなりました。一方で、産近甲龍に関しては大学定員の厳格化の影響を受け、倍率が増加し、合格者数が減少しています。大阪府下の生徒は「自宅から通える」大学を探すが、地方の国立大学に目を向けることが少ないです。しかし、画を立てることも一つの戦略として考えて欲しいと思います。また、近年では「英語の外部検定試験」を大学入試の可否に活用する動きが加速しています。今まで以上に積極的に英検やTOEICを受験することが大切になりつつあります。大規模私立大学の難化としてセンター試験を利用する生徒が増加しています。私立専門生徒であっても、センター試験を積極的に受験に活用し、幅広い受験機会を確保して欲しいです。

文化祭 9/6(金) 9/7(土) PTA主催コーナーあります。是非、ご来校ください。

編集後記

広報委員15名でスタート致しました。天候に恵まれた体育祭、生徒たちの真剣な眼差し、歓喜が伝われば嬉しく思います。